

カレッジ通信

発行
東京建築
カレッジ

授業見学
お気軽に！
事前に、
ご連絡を！

TEL
03-5950-1771

事業主が多数参加！第20期生「卒業制作発表会」

「カレッジ祭・技能文化祭」

卒制作品も見られます！

◇3月5日（日）

午前10時開会～午後3時

◇「江東実習場」及び

北砂一丁目児童遊園

雨天決行！詳細は裏面に。



茅（かや）葺き「犬小屋」班の発表。4人は授業日以外の夜や日曜日にも学校に集まって製作に取り組みました。

第20期生（2年生）の「卒業制作発表会」が2月19日（日）午後、池袋校舎で行われました。7つの班が力作を披露、体感できる作品がいくつもあることが今年の特徴でした。研修生派遣事業主、研修生の家族・友人、報道関係者など多数の来賓が来場し、参加総数は88人の大盛況となりました。

第20期生の26人が7班に分かれ、①「空間」班、②「遊具」班、③「東屋」班、④「中門」班、⑤「お社」班、⑥「犬小屋」班、⑦「竹」班の順で発表が行なわれました。

来場者が内部に座って居心地を確認できる作品になった「空間」班、発想の起点である「流しそうめん」を実演して会場全体を和ませた「竹」班など、体感できた作品が目立つことが特徴でした。江東区内の民間の児童保育所に贈呈する無垢の木による滑り台を先方のニーズを丁寧に聞きながら作った「遊具」班のように社会とのつながりを感じさせる作品もありました。日

「夜遅くまで頑張っていたね」と「中門」班メンバーの派遣事業主

本の自然環境が育んだ伝統建築の技法を組み合わせた「犬小屋」班は、茅葺き職人から直接指導を受けて茅葺き作業を体験しました。

「東屋」班、「お社」班、「中門」班もそれぞれ日本の木造建築の魅力を発信する力作を任せていました。移設可能な作品は3月5日のカレッジ祭で披露します。



感想を話す第21期生。4月から卒制ゼミがはじまります。

1年生の授業から

第21期生は、1月20・21日の「建て方・上棟」後、実習棟で次の段階の実技実習を受けています。「垂木・隠隠」「野地板・下葺」「間柱・筋交」「窓・内法（写真）」という順番です。ほとんどが未経験者ですから試行錯誤の連続ですが、先生方のやさしく、粘り強い指導で着実に成長しています。



2年生の授業から

一方、規矩（きぎょ）術を数学に落とし込んだカレッジオリジナルの授業や2年次の意匠模型作り

（エクスナレッジ）をテキストに、実務経験豊富な講師が具体的な事例で解説しているの、現場ですぐに役立つと好評です。また、修了式直前まで行なわれる「任老生産管理」では、工務店を経営していく上での重要なポイントも教えてもらえます。カレッジで学んだことを生かせる自立した建築職人の輩出をめざし、あと1ヶ月、学習は続きます。



右の写真は、第20期生の「建築設備演習」の様子です。「建築設備パーフェクトマニュアル」